

【認知症対応型共同生活介護用】

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月5日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|--------------------------------------|-------|-----------|
| 事業所番号 | 0770700417 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 篤心会 | | |
| 事業所名 | 社会福祉法人 篤心会 エルピスホーム | | |
| 所在地 | 福島県須賀川市和田字沓掛48番1 (電話)0248-76-6661 | | |
| 評価機関名 | 福島県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 福島県福島市渡利七社宮111 | | |
| 訪問調査日 | H20.11.25 | 評価確定日 | H20.12.25 |

【情報提供票より】(平成20年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|------------|------------|--------------|
| 開設年月日 | 平成14年10月1日 | | |
| ユニット数 | 2ユニット | 利用定員数計 | 18人 |
| 職員数 | 19人 | 常勤19人, 非常勤 | 人, 常勤換算15.6人 |

(2) 建物概要

| | | |
|------|-------|------|
| 建物構造 | 鉄筋 造り | |
| | 1階建ての | 1階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|-----------------|-----------|------------|-------|---|
| 家賃(平均月額) | 39,000円 | その他の経費(月額) | 円 | |
| 敷金 | 有(円) | 無 | | |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 有() 無 | 有りの場合償却の有無 | 有 / 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり | 1,350円 | | |

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

| | | | | | |
|-------|--------|------|-----|----|------|
| 利用者人数 | 18名 | 男性 | 3名 | 女性 | 15名 |
| 要介護1 | 1名 | 要介護2 | 5名 | | |
| 要介護3 | 5名 | 要介護4 | 4名 | | |
| 要介護5 | 3名 | 要支援2 | | | |
| 年齢 | 平均 83歳 | 最低 | 73歳 | 最高 | 104歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|----------------|
| 協力医療機関名 | 医療法人 平心会 須賀川病院 |
|---------|----------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは国道バイパス沿いに建てられており、隣には特別養護老人ホームが併設されている。自然環境に恵まれた場所に設置されたモダンな鉄骨造り平屋建て(2ユニット)で、調和の取れた造りとなっている。立地条件、上地域住民との関係作りには課題も多いが、地域とのかかわりを大切にしようとする、姿勢がうかがえる。利用者の表情も明るく職員との関係も良好で、きめ細やかな利用者本位のケアサービスをめざしている。

【重点項目への取組状況】

| | |
|------|---|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 前回の評価で指摘された取り組みを期待したい内容の、地域との付き合いや、災害対策での地域の人々への協力への働きかけに関して、具体的な改善へ向けた話し合いが行われていない。 |
| 重点項目 | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | サービス評価の意義や目的を全職員に伝え、職員に自己評価用紙を配布し、記入してもらい管理者がまとめたものを全体でもう一度話し合った。 |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5) |
| | 運営推進会議は2ヶ月に1回開催され、議事録も作成されている。会議の委員には、家族会会長や地域包括支援センターの方が参加され、地域包括支援センターの方から他のホームの取り組みなどを聞き、参考にしている。町内会役員が参加してもらえるよう働きかけて欲しい。 |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) |
| | 家族には、来所時や電話等で、意見や要望等、何でも話しをしてもらえるよう配慮している。また、そこで出された意見や要望等は、ミーティングにおいて職員で話し合い運営に反映させている。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 立地条件上、地域住民との関係作りには課題も多いが、お祭や文化センターの催し物に利用者と一緒に参加している。町内会に加入しているが、回覧板の回覧や総会への参加は行われていない。 |

2. 評価結果(詳細)

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------------|------|--|---|---------------------|---|
| .理念に基づく運営 | | | | | |
| 1.理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 利用者家族や地域社会との連携を大切に、温かい家庭的環境を作ることや、地域の中でその人らしい暮らしの支援を、職員全員で話し合い理念をつくりあげている。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 管理者と職員は、毎日の朝礼の際、理念について話し合っており、日常生活の中で理念の大切さを伝え、職員の意識付けに努めている。 | | |
| 2.地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | お祭や文化センターの催し物には、利用者と一緒に参加しているが、立地条件上、地域住民との関係作りには課題が多く、町内会に加入はしているが、回覧板の回覧や総会等への参加は行われていない。 | | 立地条件上、地域住民との関係作りには、課題が多いと思いますが、町内会に加入しているため、まずは回覧板を回覧してもらうよう話をしたり、総会等へ参加し地域住民との交流に努めてほしい。 |
| 3.理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 管理者は、職員全員に自己評価票を配布し、職員が日常取り組んでいるケアの見直しや、振り返りの機会として記入してもらい、管理者がまとめ、もう一度全員で話し合う等、前向きに取り組んでいる。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|------|--|---|---------------------|---|
| 5 | 8 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>運営推進会議は2ヶ月に1回開催され議事録も作成されている。会議の委員には家族会会長や地域包括支援センターの方も参加し、地域包括支援センターの方からは、他のホームでの取り組みを聞き参考にしている。地域住民代表の参加についても働きかけて欲しい。</p> | | <p>運営推進会議はその目的や地域の理解や支援を得るための貴重な機会であるため、意義や役割を十分に理解して、町内会役員や地域住民代表の方に参加いただけるよう働きかけて欲しい。</p> |
| 6 | 9 | | | | |
| 4.理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>金銭出納の報告は、毎月領収証を添えて、ホームの行事や利用者の生活の様子等を家族通信と一緒に送付している。職員の異動についても家族通信に掲載し、利用者家族に知らせている。</p> | | |
| 8 | 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>前回外部評価要改善項目であった、家族会では職員は席を外し、家族同士で話し合ってもらえるよう改善されている。また、家族にはホーム内に意見箱を設置したり、来所時や電話等で意見や要望等を何でも話をしてもらえるよう配慮している。</p> | | |
| 9 | 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>異動は馴染みの関係を作るため、基本的には行わないようにしているが、やむを得ず異動となった場合は、家族通信等で利用者家族に知らせ理解を得られるようにしている。</p> | | |


| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 法人主催で開催する勉強会や、外部研修にも積極的に参加させるようにしている。研修報告については、報告会を開き研修に参加しない職員にも伝えている。 | | |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 県認知症グループホーム連絡協議会に加入しており、ホーム職員が研修会の委員を担当し積極的に参加している。またホームからも職員を参加させ、交流の機会を作っている。 | | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入) | | | | | |
| 12 | 26 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護) | | | |
| 2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 畑仕事等を教えてもらったり、毎日の生活の中で利用者からいたわってもらったり、励ましてもらったり、笑いや喜びを共有し共に支えあう関係を築いている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|------|--|--|---------------------|---|
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1.一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | ケース記録等に利用者の行動や言動、様子、気持ち等を日々のコミュニケーションの中で、表情の違いから読み取るよう努めている。 | | |
| 2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 毎月カンファレンスを行い、職員全員で話し合い利用者、家族の意見を取り入れ、介護計画書を作成している。 | | |
| 16 | 37 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 3ヶ月から6ヶ月毎に、介護計画書の見直しを行うとともに、状態の変化があった場合は、随時見直しを行っている。 | | 3ヶ月から6ヶ月毎の見直しはもとより、状態変化が無い場合も実情に応じたケアとなるように、1ヶ月に1回程度は利用者や家族の意向を聞き、計画が利用者の現状にあっているか確認するようにして欲しい。 |
| 3.多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入) | | | | | |
| 17 | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護) | / | / | / |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入居時にかかりつけ医の希望を聞くようにしている。特に希望やかかりつけ医のない場合は、協力医療機関をかかりつけ医とすることで、同意を得ている。受診には職員が同行している。その都度家族にも結果を報告し共有している。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 前回外部評価の要改善項目である重度化や終末期に関するホームでの対応については、家族やかかりつけ医と話し合っ方針を共有している。職員間においてもできることできないことをしっかりと話し合っている。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 接遇委員会を作り、職員会議や申し送り時にプライバシーについて話し合いを行っている。個人情報の保管については、鍵のかかる場所に保管している。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 起床時間や就寝時間は一人ひとりのペースを大切にしている。できるだけ利用者の気持ちを尊重し、無理に押し付けないで、個別の対応をしている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の準備や調理、片付けは利用者と職員が一緒に行っている。職員も利用者も同じ食事を食べ会話しながら食事を楽しんでいる。また、利用者と一緒に外食を楽しんだりしている。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 毎日入浴が可能で、いつでも入浴が出来る状態になっている。希望者は夜間入浴も可能で、毎日就寝前に入浴を行っている。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入) | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護) | 利用者の生活歴を活かし、雑巾縫いや部屋の掃除や洗濯物たたみ、食事の準備など利用者一人ひとりの能力が発揮できるよう心がけている。また、ドライブなどにも出かけ外出を楽しむことができるよう支援している。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護) | 利用者のその日の状態や希望に応じて、買い物やドライブ、併設施設のデイサービスへの訪問など外出の機会を作っている。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 利用者の行動を常に把握し、鍵をかけることなく自由な生活を支援している。また玄関には、出入りがあった際はチャイムで知らせるなどの工夫がされている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 前回外部評価の要改善項目である地域の人々の協力への働きかけについては、まだ行われていない。避難訓練は、毎月1回実施されている。また、夜間想定訓練や消防署と連絡を取り、年2回夜警の人も含めた訓練も実施されている。 | | 地域住民や地元消防団員の避難訓練への参加協力を働きかけてほしい。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 日常的に食事量、水分量の把握は行われている。また食欲のない利用者の方には、食べられるものを代わりに用意するなど対応をしている。さらに、併設の特別養護老人ホームの栄養士により、献立の指導も受けている。 | | |
| 2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居間の天井が高く、明るく圧迫感がなく、気温、日差し等は適切に調節されている。食堂には季節の花が飾られており、季節感が感じられるよう配慮されている。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 写真や、洋服ハンガー等、利用者の持ち物が持ち込まれており、自宅との違いをあまり感じないように配慮している。 | | |

 は、重点項目。

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 社会福祉法人篤心会 エルピスホーム
記入担当者名 吉川 君江

評価結果に対する事業所の意見

特になし

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目 を記入してから内容を記入してください。